

## 研修報告書No. 20

研修先 四万十市国民健康保険西土佐診療所

大阪市立池田病院 研修医 重原 良平

現在、初期研修医として所属している市立池田病院から地域研修として、平成26年12月1日から12月26日まで西土佐診療所で研修をさせていただきました。

西土佐診療所は四万十市西土佐の江川崎という集落にあります。江川崎は西土佐地区では大きめの集落で小中学校があり、スーパーや飲食店、ガソリンスタンドがありました。出張診療所が大宮、口屋内、奥屋内という集落にあり各々で週に1回から2回の出張診療をしています。西土佐診療所は有床診療所で入院施設があり、地域の診療所としての役割と入院対応の両方の役割を担っていました。

私が初期研修医として働いている市立池田病院は約350床の地域の中核病院です。池田市は大阪府北西部に位置する豊能地域にある10万人程度の町です。大阪市から電車で約30分程度のベッドタウンとしての機能があるだけでなく、南部には工場群もあり、また古くは城下町として栄えていた時代もあったそうです。近隣の豊中、吹田等の北摂地域よりも少し田舎の印象があり山林も近い印象です。近隣には600床程度の市民病院や大学病院、3次救急救命センター等の医療機関が存在し、当院で対応困難な場合の搬送依頼の選択肢は比較的多いと思います。

県外在住の医師として西土佐診療所の地域医療の状況として感じたことは、池田のような都市部の医療機関と比較して僻地診療所はその施設の医療の質をそこで働く医師の能力により依存していると思いました。西土佐診療所の医療の質は都市部のそれよりもむしろ高いレベルでそこで働く医師や医療スタッフの方々の方が担保されておられましたが、それは個人の能力に依存するところが多く、継続的に質を維持することは今後も課題になるのではないかと思います。また池田病院には心臓血管外科と脳外科がなく夜間の心臓カテーテルも行えないので心筋梗塞や脳梗塞の場合は転送します。近隣に夜間でも緊急の心臓カテーテルや脳外科手術が行える施設があることに対して、西土佐では市立宇和島病院まで1時間弱かかることもありより転送のハードルは高いと感じました。西土佐診療所は地理的にも宇和島病院等のより高度な医療機関に紹介するか否かを検討するフィルターの役目を担っており、そこで働く医師にはトリアージする能力がより必要だと思いました。

研修内容としては外来診療の見学と診察や外傷患者の対応、入院患者の診察、出張診療所での外来診療の見学と診察、往診の見学等多岐にわたるものでした。

外来見学でわかったことは診察においてより広範囲の医療知識と手技に精通している必要があるということでした。一般の内科診療をはじめ、より専門的な呼吸器内科領域や消化器内科領域、循環器内科領域、整形外科領域、皮膚科領域に及ぶ広範囲の知識が必要であることを知りました。また、往診を見学させていただいたことも大変有意義でした。池田病院での研修では患者が退院後どのように自宅療養されているか見たことがなく、今回

の往診見学は退院後の患者の姿を見ることができ大変勉強になりました。出張診療所では江川崎よりさらに過疎地域の診療所を見学することができ、地域の診療所としての存在意義を目の当たりにしました。

今回の地域研修では多くのことを勉強させていただきました。西土佐研修の初日に所長からは医療知識や手技についてはあまり学ぶことがないから地域医療の現場をみてくれといわれました。しかし、実際に研修をしていると現場を見学することで得られる地域医療の全体像だけでなく、緊急症例に対する対応や外傷のマネージメント等、医療知識や手技についてもかなり勉強になりました。

今回、貴重な研修の機会を与えていただいた西土佐診療所長をはじめとする先生方やスタッフ、事務の方々に感謝しております。機会があれば深い自然に囲まれた西土佐をまた訪れたいです。ありがとうございました。